



堤防高はここです

大谷海岸に看板

気仙沼市本吉町の大谷海岸に、東日本大震災の災害復旧で計画されている堤防の高さを示す看板が立てられた。写真。

住民の要望を受けた

気仙沼土木事務所が防災情報を示す電光掲示板の上に作った。大谷海岸には高さ9・8メートル（平均海面高）のコンクリート堤防を作る計画だが、地域ではあ

る程度の高さには理解を示しているものの、砂浜の保存や景観の保護を訴え、高さの見直しを求める要望が根強い。

三島地区に自宅再建を考えている漁業の男性（59）は「あらためて高いと感じる。海で仕事をしている人たち

の避難方法はどのようなか」と不安げ。

近くの会社員の女性（44）は「震災から時間が経って、海を見ながら生活したいと語る人たちが増えている。海と陸を分断させるような作り方に疑問」と見上げていた。